

市議会12月定例会が開会、一般質問は9日14時に

伊豆月ヶ瀬梅組合の視察に参加 夢の里みつかわ土地利用研究会

12月1日 市議会12月定例会開会

12月1日、市議会12月定例会が開会し、提出議案の説明などが行われました。今回の議案は、一般会計の補正（職員給与費や生活保護費など）のほか、屋外広告物条例の制定、水道料金の引き上げ、市営駐車場の指定管理者指定などです。

一般質問 12月9日午後2時登壇

今回私は「非常勤職員の待遇、自殺予防の取り組み、労働福祉センターの運営、農業振興ビジョン策定」の問題を取り上げ市長に見解を問います。9日午後2時ごろの登壇となります。是非傍聴にお越しくください。14日15日が常任委員会審査、最終日は22日です。12月は各種行事も多く大変忙しくなりますが、今回も精一杯取り組みます。

11月29日 伊豆月ヶ瀬梅組合視察

夢の里みつかわ土地利用研究会では4班に分かれて11月12月1月連続して視察を計画しています。私は第一班の伊豆市月ヶ瀬の農事法人「伊豆月ヶ瀬梅組合」の視察に参加しました。



写真 地域活性化施設「梅びとの郷」

現地を視察の後、組合長の大川氏、副組合長の久保田氏よりお話を伺いました。同組合は昭和

44年に梅の植樹からはじまって40年の歴史があります。平成15年度に中間山間地総合整備事業に採択され6億円の補助を得て、道路整備、体験施設と販売加工施設を兼ねた地域活性化施設の建設をすすめました。「伊豆一番の観光梅園」を目指し、自らの手で「梅祭り」など観光客集客にむけてのプロモーション、また商品開発にも取り組み、また地場産品の直売なども行い売店の運営費用を賄っております。経営は借入金もなく黒字とのこと、52名の組合員の協力をえて、出役で事業を全てこなしているということでした。土地の条件もよくなく、大変な作業も多いなか、組合員は兼業農家、他への就業者がほとんどというなかで、地域が一致協力して地域活性化に夢を持って取り組んでいることに感心いたしました。その後会場を移し、天城湯ヶ島の「企業組合竹の子かあさん」の代表澤木育子氏より、で農産物加工や宅配便、売店などの運営について伺いました。女性だけのグループでブランドを築き上げてきた経験から、三川で取り組もうとしている「ふるさと便」へのアドバイスを伺いました。「こだわり物・限定品を求めるニーズはあるが、今はものがあふれている時代で競争は厳しい」「いかに違いを出せるか」「ターゲットを明確に」など助言や、人材育成の重要性などご意見をいただきました。

高橋よしひろの議会活動通信

2009年12月4日号

袋井市大谷245 TEL・FAX(48)6100

E-mail:wbs35910@mail.wbs.ne.jp

<http://www.yoshihiro-takahashi.net>

御気軽にアクセスしてください。